

新宿ターミナルの更なるバリアフリーの推進について

■ 背景

- 2018年3月に「公共交通機関の旅客施設に関する移動円滑化整備ガイドライン」が改訂される等、社会情勢としてのバリアフリーに対する気運が高まっている。
- ガイドラインでは、旅客施設の移動経路における望ましい整備内容として他の事業者との乗継ぎ経路についても移動円滑化することが新たに位置付けられている。

<参考>バリアフリー整備ガイドライン（旅客施設編）抜粋

第2部 旅客施設共通ガイドライン

1. 移動経路に関するガイドライン

- ◇ 他の事業者の旅客施設（他の交通モードのものを含む。）との乗継ぎ経路についても、必要な調整を行うこと等により移動円滑化することが望ましい。

■ 新宿ターミナル協議会におけるバリアフリーの取組

- 新宿ターミナル協議会では、新宿ターミナルにおけるバリアフリーの推進を目的とし、主な乗換え動線における現状と課題の整理を行ったうえ、基本的な施策の方向性として「新宿ターミナル基本ルール」を策定した。
- これを踏まえ、具体的な整備の内容や時期について、2017年8月に「整備計画」として位置付け、整備を進めてきた。
- しかし、乗換え動線上における階段等の障害や視覚障害者誘導ブロックの未整備箇所など、具体的な対応ができていない箇所が残されている。



新宿ターミナルにおける一層の利便性の向上を図るため、現時点における課題の整理と、これらを踏まえた更なるバリアフリーの推進に向けた具体的な整備内容と実施時期について検討を行う。

■ 基本ルールにおけると課題と整備状況

地上

地下



視覚障害者誘導用ブロックがない
⇒視覚障害者誘導用ブロックを整備
(2019年度上半完了予定)

③
階段・エスカレーターのみ
⇒直近のバリアフリー設備を案内
(将来の大規模な改変等を見据え、引き続き検討)

階段・エスカレーターのみ
⇒エレベーターを整備
(2017年6月完了)

④
階段のみ
⇒直近のバリアフリー設備を案内
(将来の大規模な改変等を見据え、引き続き検討)

①
階段のみ
⇒直近のバリアフリー設備を案内
(将来の大規模な改変等を見据え、引き続き検討)

視覚障害者誘導用ブロックが連続していない
⇒視覚障害者誘導用ブロックを整備
(2018年7月完了)

階段のみ
⇒直近のバリアフリー設備を案内

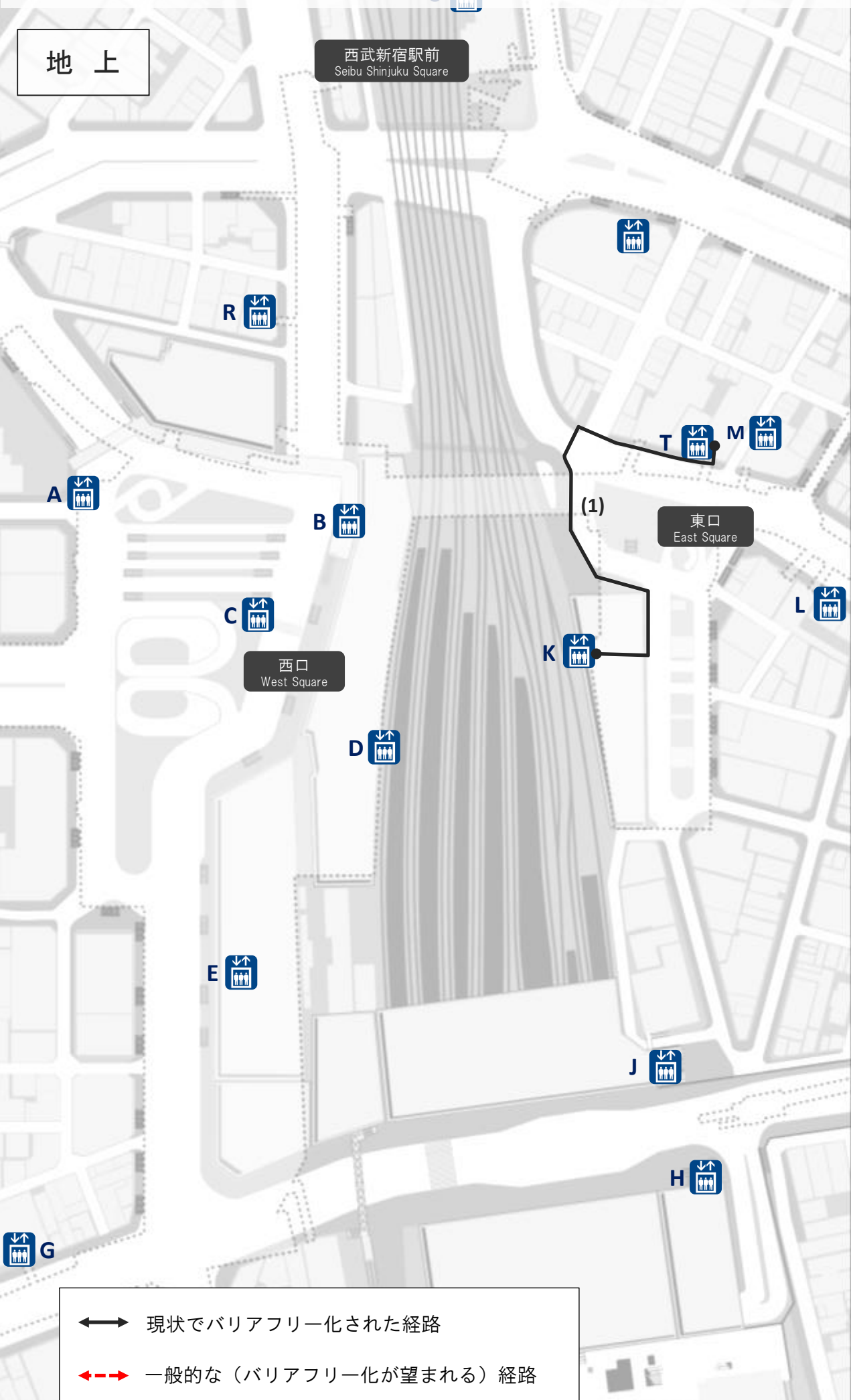
階段のみ
⇒将来の大規模な改変に伴う連続的なバリアフリー経路の確保を見据え、先行的にエレベーターを整備
(2020年度完了予定)

②
階段・エスカレーターのみ
⇒直近のバリアフリー設備を案内
(将来の大規模な改変等を見据え、引き続き検討)

- 整備済み・整備予定
- 未対応箇所

乗換え動線のバリアフリーの課題と対応<課題①>

地上



地下



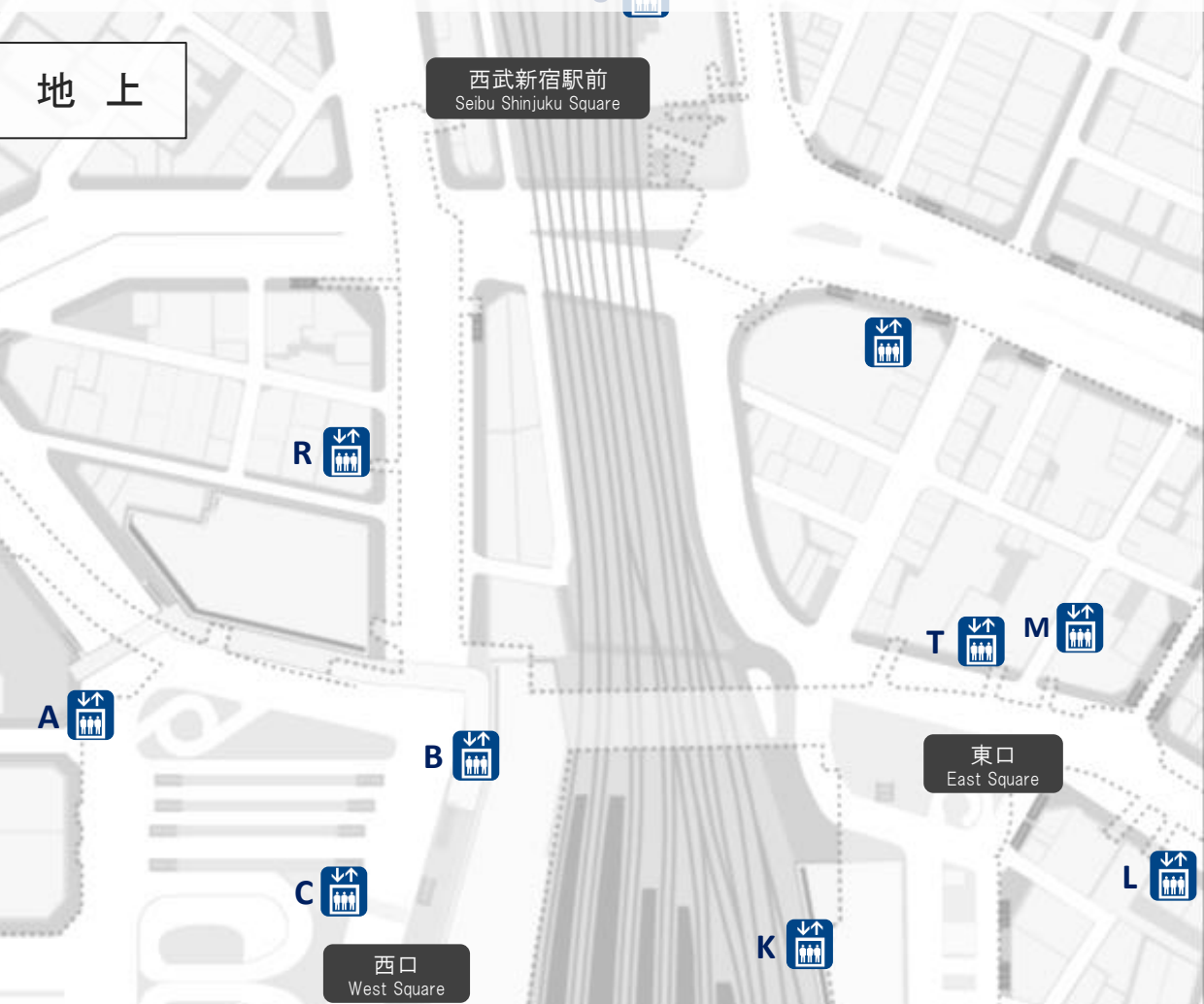
① JR線⇔丸ノ内線
 時間帯によっては屋内の乗換えルートがない。
 (1) 丸ノ内線東改札⇔地上⇔JR東口改札
 屋外を経由するルートであり、延長が長く、混雑していることが多い。
 ⇒主な乗換え動線上の段差解消について、将来の大規模な改変等を含め、引き続き検討を行う。
 (2) 丸ノ内線東改札⇔メトロプロムナード⇔JR西口改札
 メトロプロムナードは6時～23時のみ通行可能となっており、始発～6時及び23時～終電の時間は通行することができない。
 ⇒常時屋内で乗り換えられるルートを確認するため、始終電対応化に向けて具体的に検討を行う。

↔ 現状でバリアフリー化された経路
 - - - 一般的な（バリアフリー化が望まれる）経路

■ 乗換え動線のバリアフリーの課題と対応<課題②>

地上

地下



② JR線⇄京王新線

(1) 京王新線⇄地上⇄JR南口

- ・屋外を経由するルートであり、急勾配となっている。また、混雑していることが多い。
- ・京王新線改札前のエレベーター整備により、屋外のルートが短縮される。

(2) 京王新線⇄JR西口改札

JR改札内も合わせて、移動経路が非常に長い。

⇒ 屋内で乗り換えられるルートについて、連続的な視覚障害者誘導用ブロックの整備を実施。

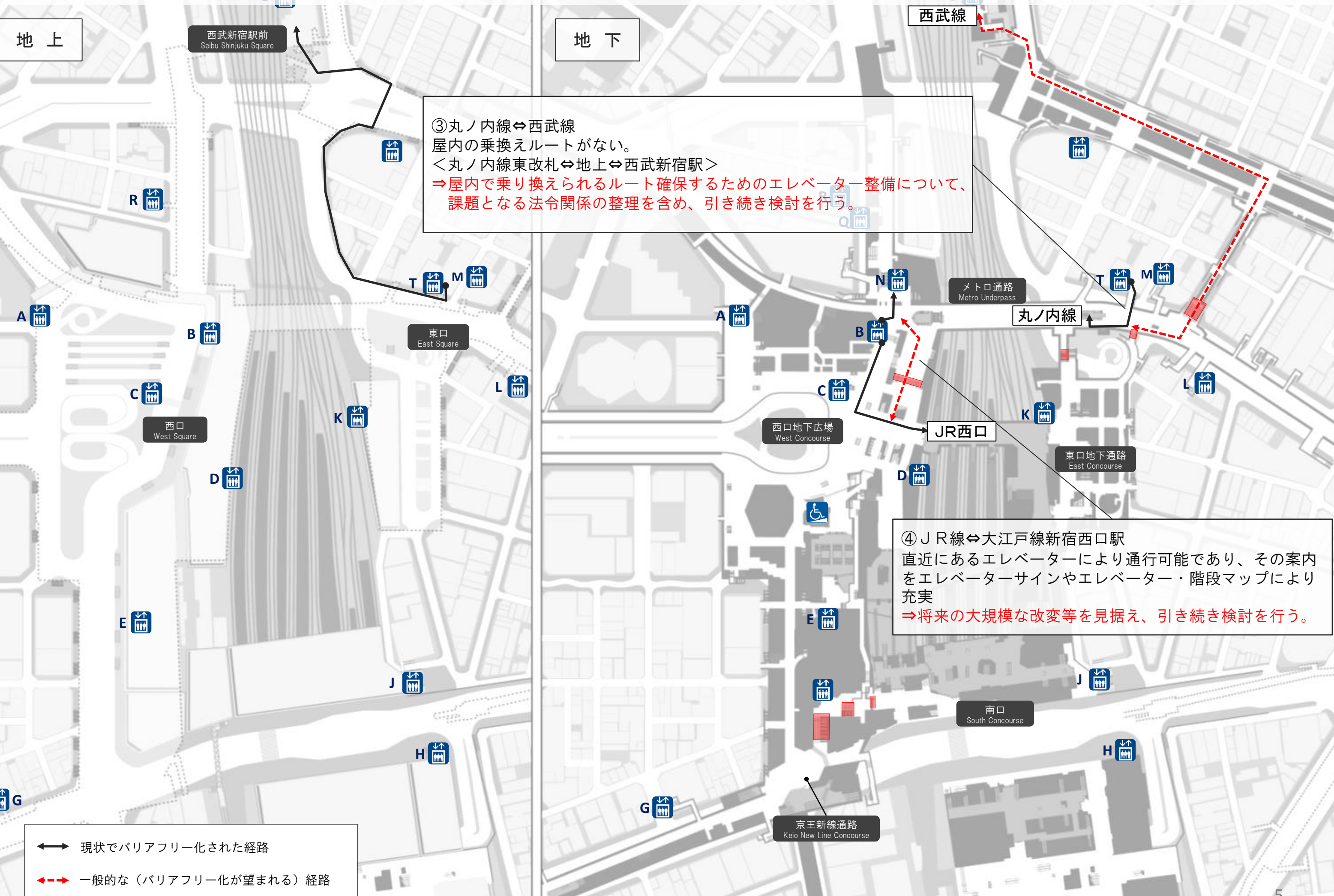
・段差解消については、将来の大規模な改変等を見据え、引き続き検討を行う。



↔ 現状でバリアフリー化された経路

↔↔ 一般的な（バリアフリー化が望まれる）経路

■ 乗換え動線のバリアフリーの課題と対応<課題③、④>



③ 丸ノ内線⇄西武線
 屋内の乗換えルートがない。
 <丸ノ内線東改札⇄地上⇄西武新宿駅>
 ⇒屋内で乗り換えられるルート確保するためのエレベーター整備について、課題となる法令関係の整理を含め、引き続き検討を行う。

④ JR線⇄大江戸線新宿西口駅
 直近にあるエレベーターにより通行可能であり、その案内をエレベーターサインやエレベーター・階段マップにより充実
 ⇒将来の大規模な改変等を見据え、引き続き検討を行う。

↔ 現状でバリアフリー化された経路
 - - - 一般的な（バリアフリー化が望まれる）経路